

今の基金の状態は 誰の責任もないのか

角田 龍仁議員

法的な責任が生ずるとは考えてない

会計室室長補佐



問 誰が有価証券を購入する事を決めたのか。

答 毎年、年度末に公金管理委員会で翌年度の運用計画を協議した後、副市長の決裁を得ている。

問 どのような計画で、このような基金の運用をしたのか。

答 普通預金や定期預金では運用益が見込めないことから、自主財源確保のために、より利率が高い超長期債券の購入を

進めた。

問 有価証券が満期になり、現金化できるのは何年後で、その金額は。

答 満期まで5年未満4億円、5年～10年未満6億円、10年～20年未満44億円、20年～30年未満59億円、30年～40年未満13億円。

問 令和7年度決算見込みベースで基金の現金が約13億円で、かなり厳

しい財政運営を迫られるがどう見ているのか。

答 現状の厳しさを実感している。今まで歳入に見合っていない歳出で運営してきたという財政構造だと認識している。

問 報告書には、市長は知らなかったと書いてある

いかなかったと書いてあるが、今のこの状態は、誰の責任もないのか。

答 法令・規則に基づき適切に運用しており、法的な責任が生ずるとは考えていない。

今後見込まれる
事業の財源確保は

問 学校老朽化の改築・大規模改修で、最初に取りかかる学校は何年に行うのか。

答 現時点において、改築もしくは大規模改修の

手法が確定していないことや、総事業費に係る財

源確保なども併せて考慮する必要があるためスケジュールを示すことは差し控える。

問 佐屋駅周辺整備の工事着手は、何年に行うのか

答 駅西周辺整備を令和11年から整備工事を行う予定だ。駅東周辺整備は16年度から行う予定で、現時点の試算で約14億円を見込んでいます。

問 それらの財源確保は。

答 それぞれの事業について、財源は現在未定だが、総事業のうち、一般財源以外の財源をどれだけ得られるか慎重に分析し、有利な財源について活用を検討していく。

基金・地方債残高 令和7年度末(見込み) 推定 (愛西市)		(愛西市を年収500万円の家計に例えると)	
基金		貯金	
定期預金及び普通預金	13 億円	現金及び預貯金	24 万円
有価証券 (10年以上現金化できない)	129 億円	有価証券 (10年以上現金化できない)	237 万円
合計	142 億円	合計	261 万円
地方債残高	299 億円	借金残高	550 万円
事実上の地方債残高	180 億円	事実上の借金残高	330 万円
毎年市債の返還金	22 億円	毎年のローン返済	40 万円
毎年の繰入金(基金切崩し)	14 億円	毎年の貯金の切崩し	25 万円

※ 令和8年度から10年間は、何かあった時に使える貯金がなくなる。

▲令和7年度末の基金状況(推定)